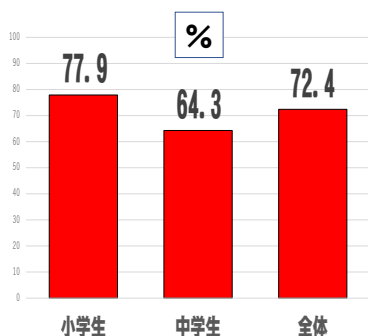




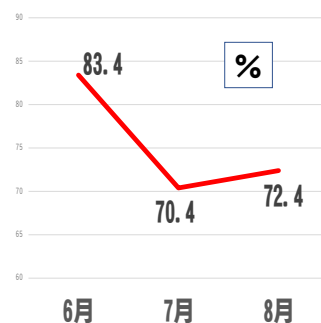
9月も半ば過ぎて、秋分の日も近づいていますが、依然として夏が続いているような毎日です。秋はいつ訪れるのでしょうか。

さて、この土曜塾便り「学び人」は、先日から教育委員会のホームページにも掲載されるようになりました。下に示すアンケートでも分かるように、この便りを家の人に確実に渡している塾生は半数に過ぎません。これまでの号を見ていない保護者の方は、ホームページをご覧になり、土曜塾の6つの教室での様子を知っていただけたらと思います。



## 8月の出席の様子

8月は7月より少し出席率は高くなりました。小学生の方がかなり高いのが分かります。1番高かったのは明倫教室で84.8%、次に和霊教室で82.3%でした。暑い中、よくがんばって出席しました。



## 第2回アンケート結果

赤字の数字は、昨年度と比べて「はい」と回答した割合が高くなった項目です。9項目中、7項目が高くなっているのは嬉しいことです。たくさんの意見や感想を書いていたいただきました。その一部を紹介します。(回収率95%)

| 質 問 項 目                        | はい | まあまあ | いいえ |
|--------------------------------|----|------|-----|
| (1) 毎回、出席できていますか。              | 34 | 57   | 9   |
| (2) 開始時刻に遅れずに来ていますか。           | 71 | 27   | 2   |
| (3) 先生や友だちにあいさつをしていますか。        | 60 | 38   | 2   |
| (4) 必要なものを忘れずに持ってきていますか。       | 59 | 38   | 3   |
| (5) 「ふり返り」をきちんと書いて家の人に見せていますか。 | 55 | 41   | 4   |
| (6) 「土曜塾便り」に目を通して家の人に渡していますか。  | 50 | 42   | 8   |
| (7) うわじま土曜塾に入ってよかったと思いますか。     | 69 | 30   | 1   |
| (8) 土曜塾の学習でわかるようになってきていますか。    | 69 | 28   | 3   |

### ～鶴島教室～

○1つの問題を詳しく聞いてくださるので、ぼんやりとしか分かっていなかった所が分かるようになりました。  
○英語も数学も自分のペースに合っている気がするので、授業が受けやすいです。  
○土曜塾に行き始めて、勉強の見方が変わったので、このまま勉強して頑張りたいです。

### ～明倫教室～

○苦手なやつはドンドン教えてもらって、分かるようになったのがたくさんあったのでよかったです。  
○全学年で英語のゲーム(月末)をするのが楽しいです。  
○勉強が終わってから遊ぶのが楽しいです。外で遊びたいです。(鬼ごっこ)

### ～和霊教室～

○苦手な算数の割り算や分数のたし算、ひき算は5年生の勉強だけど、6年生になってしっかり教えてもらって、少しできるようになりました。

○体験学習がとても楽しかったです。

○かぜで学校を長期間休んでしまったけれど、授業で先生の言っている意味も分かったし、テストでもいい点がとれた。

### ～三間教室～

○数学がとても苦手がよく分からないけど、大西先生や濱崎先生にアドバイスをもらって分かるようになりました。夏休みの宿題も黒田先生や松井先生のサポートにより頑張ることができました。

○夏休みに読書感想文のやり方講座があって、今までより宿題がやりやすかった。

○数学が楽しいなと思いました。

○みんなでやることを増やしてほしい。

### ～吉田教室～

○分かるまで丁寧に教えてくれるので、助かっています。よく話しかけてもらえるので、語彙（い）も増えて楽しいです。

○小学生の時から土曜塾に通ってきて、基礎がしっかりできたからこそ、学校での学習で生きていると思います。宇和島からでも通う価値はあると思います。今年で最後なのでしっかりと取り組みます。

### ～岩松教室～

○初めは勉強することが苦手で、やっけない日が多かったけど、母に「土曜塾に行きたい」とお願いして始めました。分からなかった所が分かるようになりました。

○4年生から入ったけど、友だちができてよかったです。

○授業がとても楽しいです。

## 心に残る一冊～「モモ」



荒瀬敦子先生（岩松教室）

私が子どもの頃から大好きで、今、皆さんに贈りたい一冊の本はミヒヤエル・エンデの「モモ」です。小さな女の子モモが、時間泥棒に盗まれてしまった人々の時間を、たった一人で取り戻す冒険ファンタジーです。

初めてこの本に出会ったのは、小学生の頃でした。モモと時間泥棒の攻防にハラハラドキドキしながら、物語のおもしろさを楽しみました。大切な友だちのベッポとジシ、そして街の人々の時間を取り戻す舞台となった「時間の国」は、魅惑的な場所でした。「星の時間」が分かる時計を持つマイスター・ホラに案内される「時間の源」には、「時間の花」が咲き誇っています。とても幻想的で大好きでした。

中学生の頃になるとストーリーだけではなく、「時間とは？」人とのつながりとは？「本当の豊かさとは？」といった物語に込められた思いを感じるようになりました。マイスター・ホラのさまざまな意味が少しずつ理解できたのもこの頃でした。過去は「今」の積み重ねで「今」によって未来が生まれるのだと、「今」を楽しむことに夢中でした。

そして、大人になった今、本棚にある本を手にとりたいと思いますが、日々の生活に追われ、ついつい後回しにしている私がいま。今やらなければならぬ事を終わらせるため、効率を図ることばかりを考えてしまいます。いつの間にか私は、時間泥棒にねらわれ、時間を盗まれてしまったようです。

**モモが私に教えてくれたのは、自分らしく豊かに生きる「時間の大切さ」でした。**スマートフォンやSNSやゲームに夢中になりすぎて、自分でも気付かぬうちに、貴重な時間を盗まれてはいませんか。1日に24時間という誰もが平等に与えられている「時間」を大切に生きましょう。時間泥棒にねらわれないように……。